

圖 版



調査地遠景（南西）



調査地遠景（北北東）



F K J
02-2 2 遺田 (東)



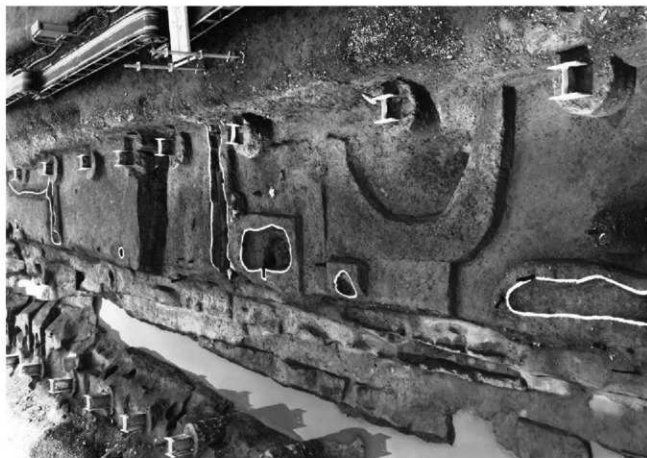
F K J
02-2 1 遺田 (東)



F K K J 02 2 1 2 面 III (西)



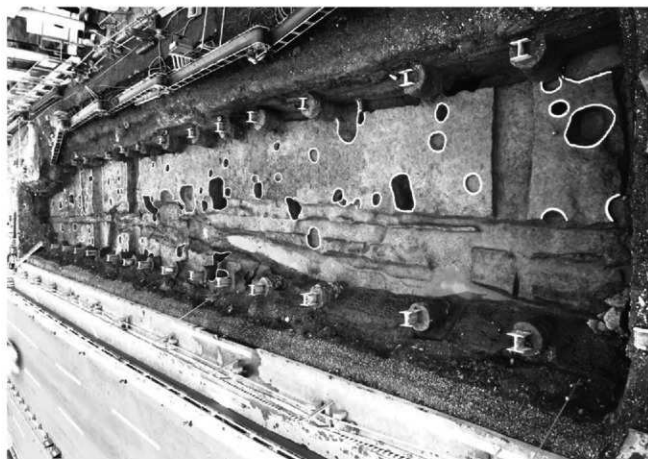
F K K J 02 2 1 1 面 III (西)



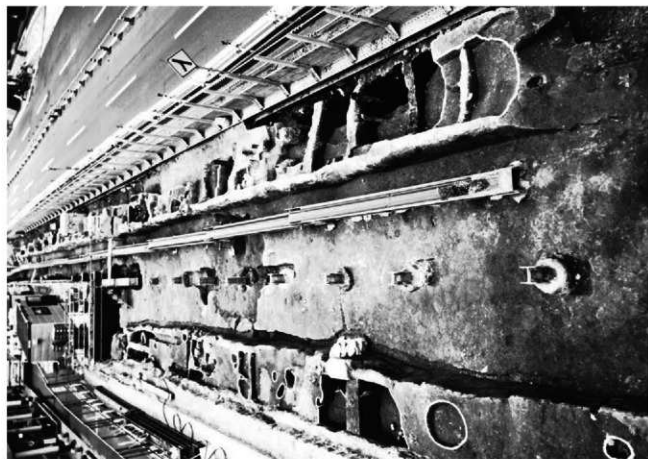
F K J 02 2 2 2 面Ⅲ (西)



F K J 02 2 2 1 面Ⅲ (西)



F K J 02-2 2 断面 (西)



F K J 02-4 1 断面 (東)



F K J 02-4 2層目 (北)



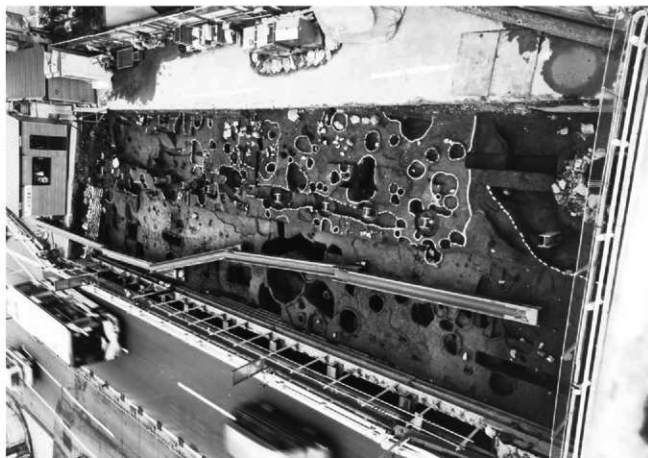
F K J 02-4 2層目 (西)



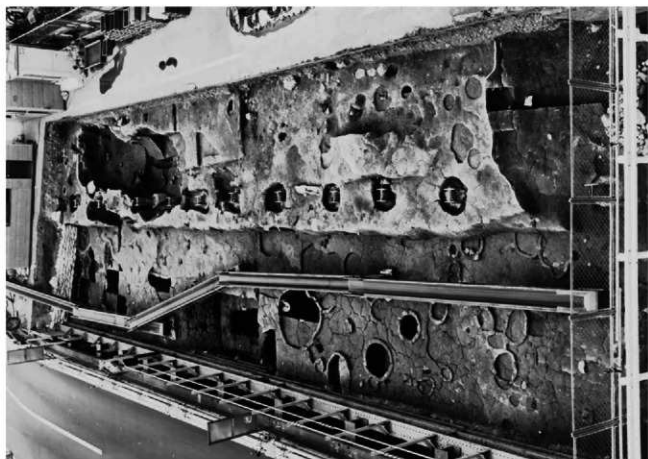
F K J 02-4 3 面目 (西)



F K J 02-4 3 面目 (西)



F K J 02-9 2-1-遺跡 (東)



F K J 02-9 1-遺跡 (東)



F K J 02-9 3 画面 (東)



F K J 02-9 2 2 画面 (東)



F K J 02 10 一丁目 (西)



F K J 02 10 一丁目 (東)



F K J 02 10 2-1 面目 (西)



F K J 02 10 2-1 面目 (東)



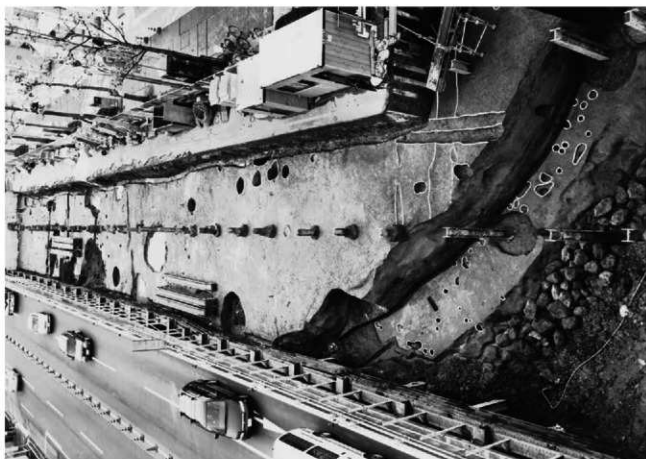
F K J 02 10 2-2 面目 (西)



F K J 02 10 2-2 面目 (東)



F K J 02 10 3 面目 (西)



F K J 02 10 3 面目 (東)



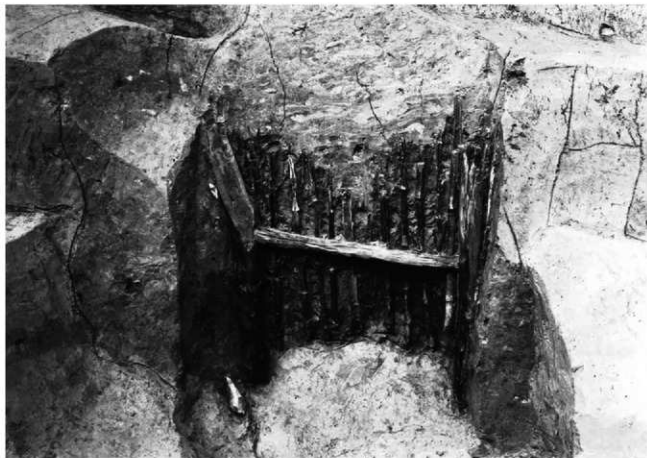
FKJ02-9 3面目 (西)



FKJ02-9 打刀出土状況 (西)



井戸No. 9-15 (北)



井戸No. 9-141 (南)



井戸No. 10-1062 笏谷石製井戸枠（南西）



井戸No. 10-1062 石製井戸枠の基礎と井戸桶（南西）



井戸No. 4-511 (東)



廃棄土坑No. 10-1005 (北)



木橋遺跡 No. 325 (北)



十五里塚遺跡 No. 522 (南)



土器埋設遺構No. 4-520 (北)



土器埋設遺構No. 10-5015 (南東)



井戸No. 4-857 (南西)



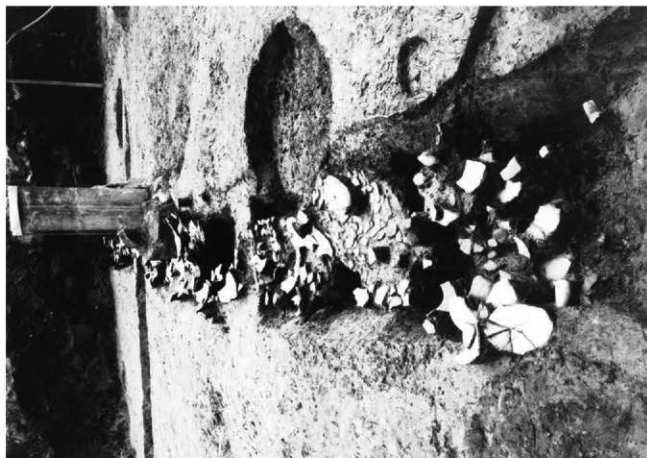
FKJ02-10 古代の権跡 (北)



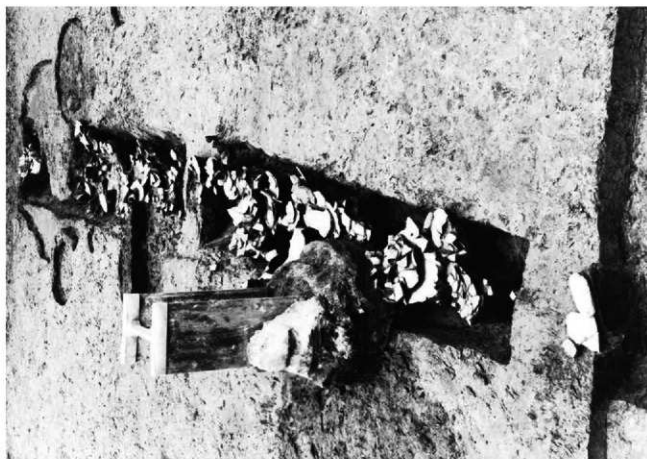
井戸No. 10-5055 土器出土状況（北東）



溝No. 10-5045(4-850) 土器出土状況（北）



標 No. 4 850 土器出土穴 (北)



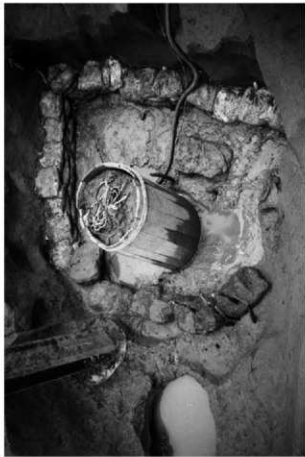
標 No. 4 850 土器出土穴 (南)



FKJ02-3 北側全景 2面目 (西)



FKJ02-3 北側2面目 遺構集中部分 (東)



井戸No. 3-213 (北)



井戸No. 3-213 土俵 (西)



FKJ02-3 南西側全景 1面目(西)



FKJ02-3 南側2面目 遺構集中部分(西)



FKJ02-3 南側3面目 遺構集中部分(西)



FKJ02-3 南側全景 4面目(東)



FKJ02-3 北側全景 4面目(西)



溝No. 3-117(254), 3-118(FKJ02-3南側:東)



溝No. 3-117(254), 3-116(246)(FKJ02-3北側:東)



FKJ02-4 石垣Ⅲ (北東)



FKJ02-10 石垣Ⅲ (東)



FKJ02-10 石垣II (東)



FKJ02-10 石垣II (東) 突角部基部と石垣I



FKJ02-10 石垣 I (東)



FKJ02-10 石垣 I (東)



FKJ02-10 石垣X 石垣石材と桐木 (南東)



FKJ02-10 石垣I上砂利敷(北)背後 石垣II・手前・石垣X裏込



1510-4 石垣田 藤木組 (全貌)



1510-4 石垣田 藤木組 (全貌)



FKJ02-10 石垣Ⅲ 桐木組 (東)



FKJ02-10 石垣Ⅱb 桐木組 (南)



FKJ02-4 石垣 I (南) 手前 板石敷通路状遺構



FKJ02-4 石垣 I 南端部分 (南)



FKJ02-4 板石敷通路状遺構と石垣 I (東)



FKJ02-4 板石敷通路状遺構と石垣 I (北東)



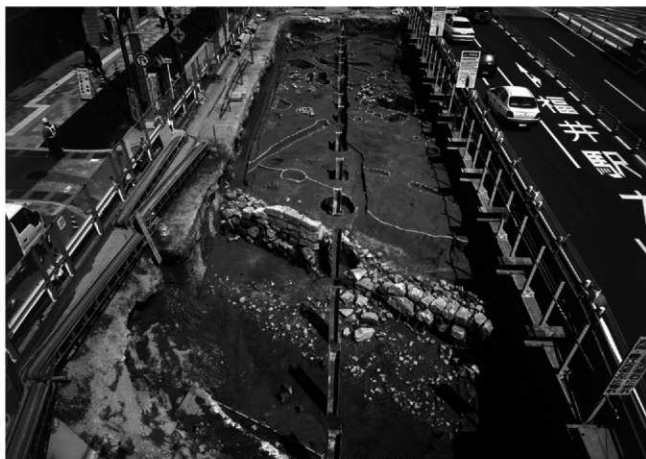
FKJ02-4 板石敷通路状遺構（東）手前 下層の溝状遺構と杭列



FKJ02-4 通路状遺構（東）手前 埋め戻し済み



FKJ02-3 南側 百間堀東側石垣(西)



FKJ02-3 北側 百間堀東側石垣(西)



FKJ02-3 北側 百間堀東側石垣 北端部分 (西)



FKJ02-3 北側 百間堀東側石垣 (西)



FKJ02-3 石垣前面 百間堀内堆積状況 (南)



FKJ06-11 百間堀東側石垣 (西)



401-16



1005-6



904-3



1005-7



1006-6



401-5



1006-3



401-29



1006-7



1006-4



401-17



1006-5





401-7



1006-3



1006-2



1冊-12



1500-1



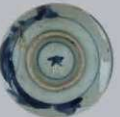
354-1



401-2



351-1



350-3



401-9



3200-3



401-11



351-4



1010-2



354-5



401-4







唐津③・京焼(色絵・楽焼)







3208-1



1010-6



1005-27



401-28



902-7



1036-2



石II-2



3226-3



401-26



1010-12



904-13



1005-35



904-12



3200-5



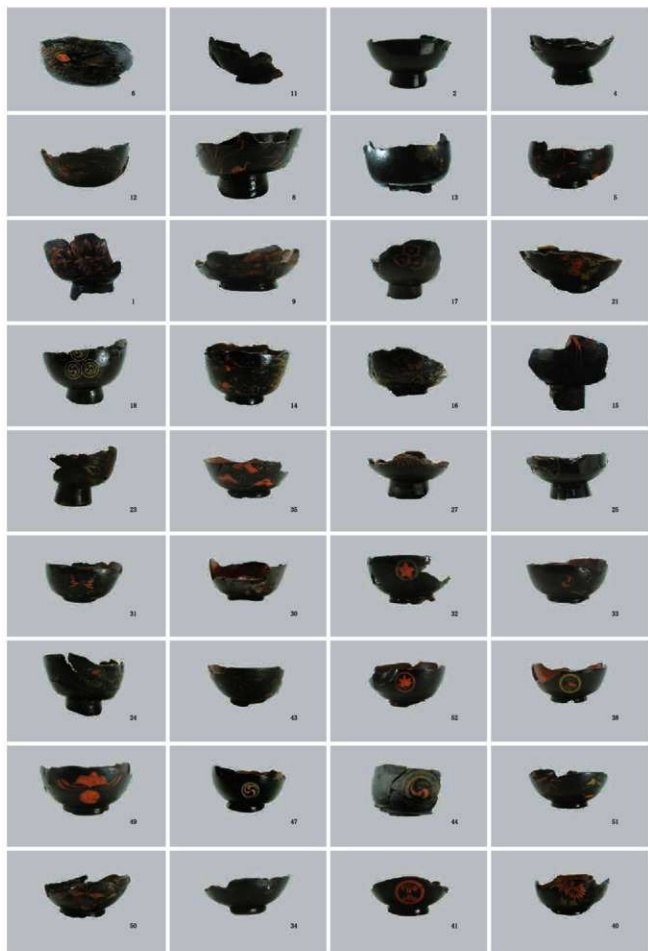


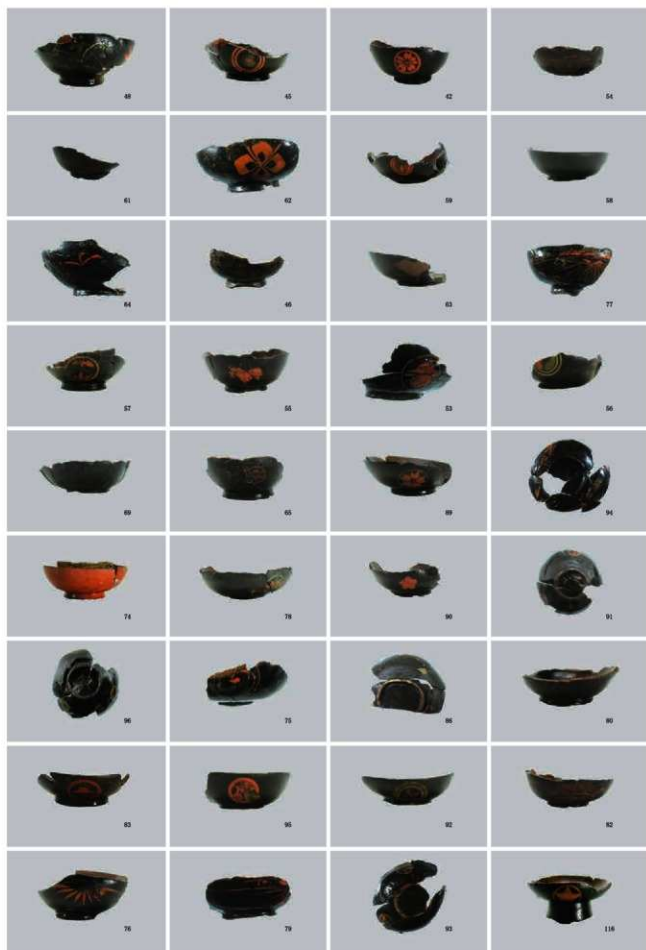


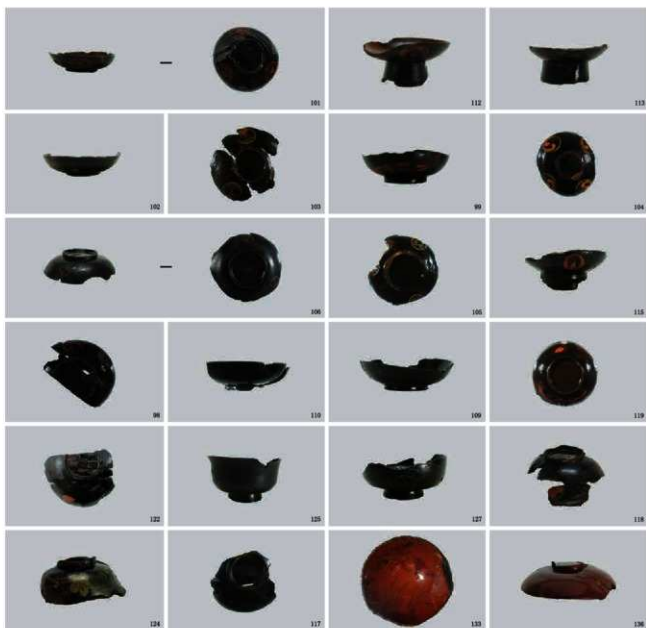








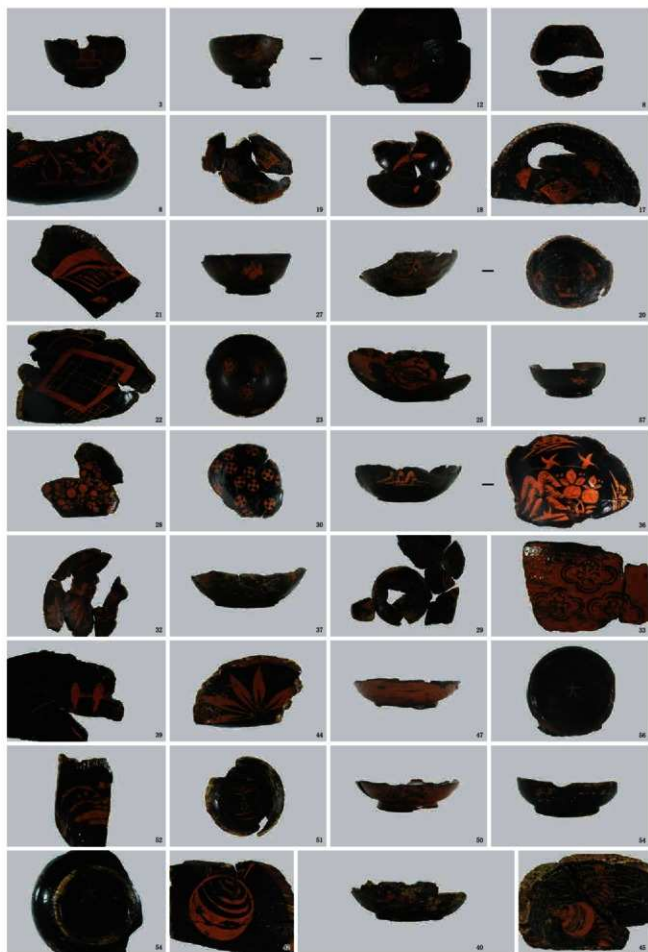




近世の漆器 3



中世の漆器 1





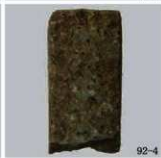
木簡

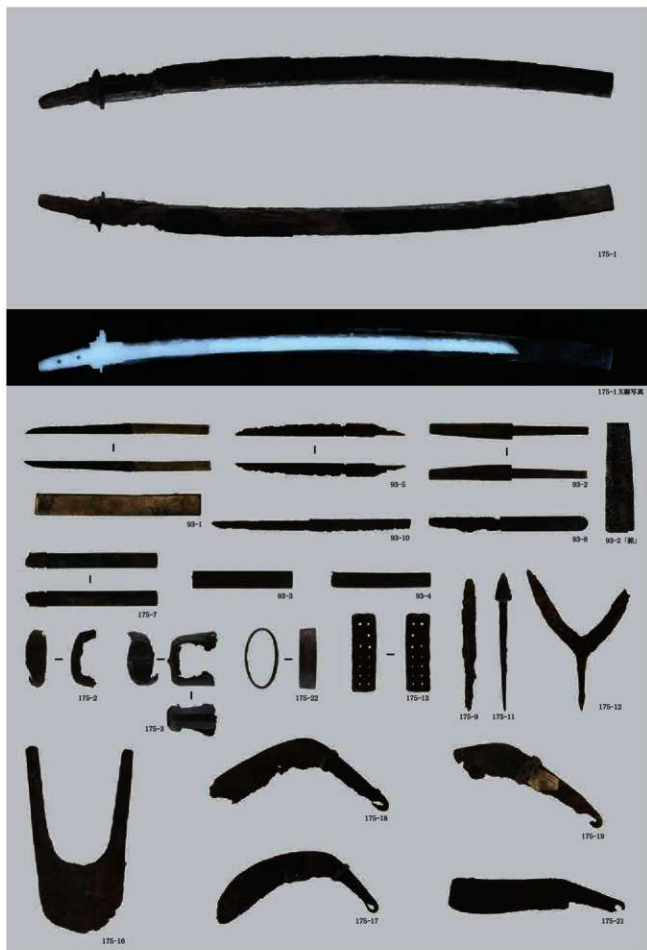


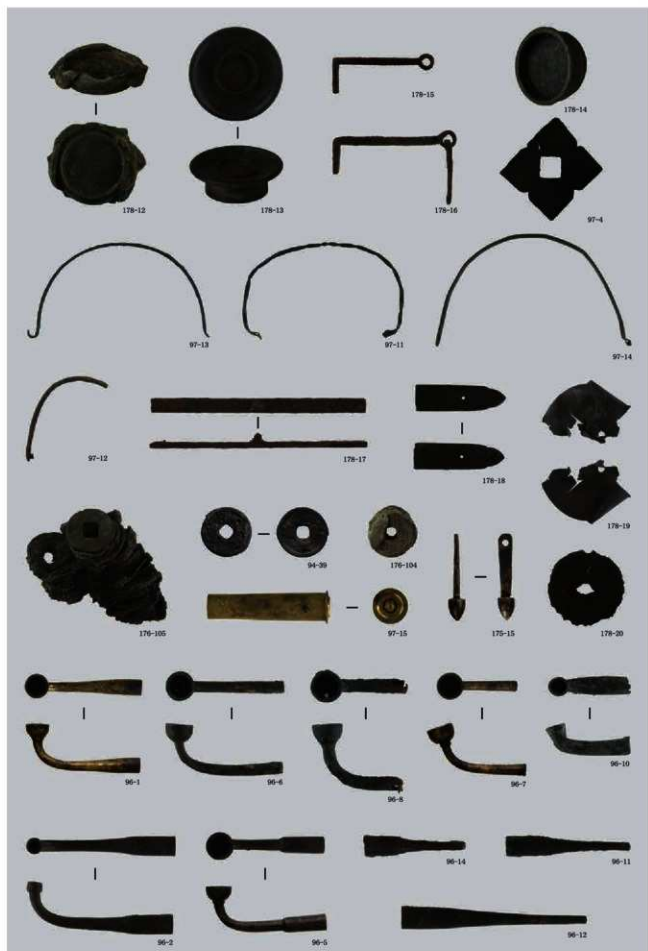
墨書













取瓶(外面)



取瓶(内面)



取瓶(外面)



取瓶(内面)



輪羽口・鉞洋



福井駅西口大名町交差点付近にて採取されたと伝わる中世の鏡（部分拡大）

個人蔵



同上（背面）



同上（表面）



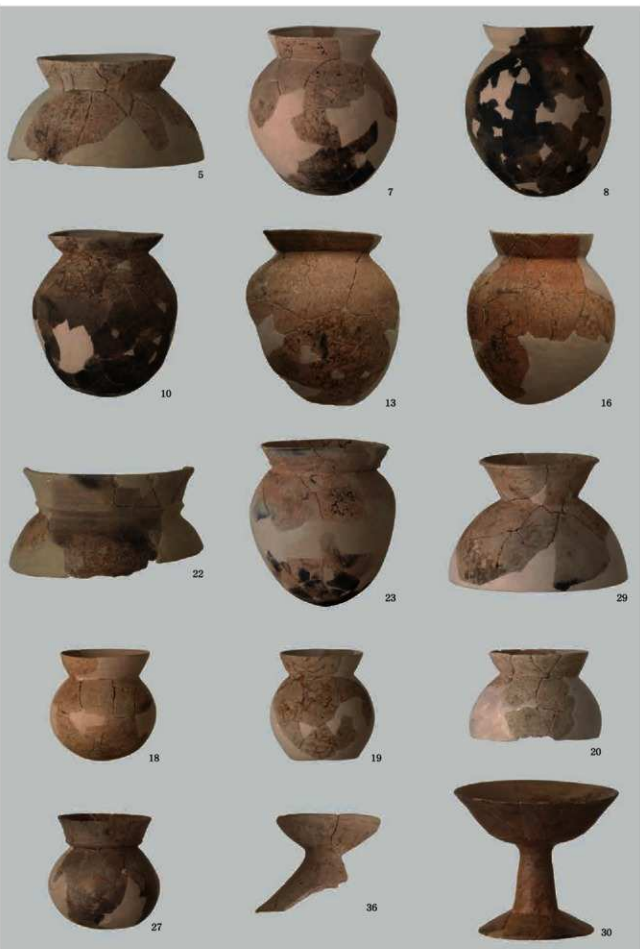
C 8区 須恵器食膳具



C 8区 土師器食膳具



C 7・9区 須恵器食膳具





38



39



1



2



48



49



50



42



65



68



4



6



9



25



53



55



56



64



76



78

報告書抄録

ふりがな	ふくいじょうあと							
書名	福井城跡							
副書名	福井駅西口地下駐車場整備事業に伴う発掘調査							
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第 102集							
編集者名	御嶽貞義							
著者名	本多達哉 河村健史 青木隆佳 御嶽貞義 佐藤優子 釘谷紀 立壁肇 長嶺睦							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒 910 2152 福井県福井市安波賀町 4 10 0776 41 3644							
発行年月日	西暦 2008年 3月 31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
福井城跡	福井県 福井市 中央1丁目 南東3丁目 ・大手3丁目	18201	01141	36 03 45	136 13 15	平成 14年 7月 17日 ～ 平成 15年 12月 26日	約 10 900	福井駅西口 地下駐車場 整備事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
福井城跡	城郭	近世	石垣・堀・井戸・廃 棄土坑など	土器・陶磁器 越前赤瓦など		福井城廃城時の石垣 の下層に築城時の石垣 が残存した。		
	都市	中世	石垣・板石敷通路状 遺構・通路状遺構・ 砂利敷道路・井戸・ 溝状遺構など	打刀・鍛冶関連遺 物・黒漆塗三ッ巴紋 石瓦・陶磁器など		福井城石垣の下層に て北庄城期の石垣を確 認した。北庄城期・朝 倉氏一族の治めた中世 北庄の一端が窺えた。		
	官衙?	奈良時代	掘立柱建物群など	須恵器・土師器など		福井県嶺北地方にお いて最大級の規模とな る掘立柱建物。		
	集落	古墳時代	溝状遺構・井戸など	土師器など		古墳時代前期の土師 器の良好な一括資料。		
	散布地 包含層	縄文時代						
要約	<p>福井城三ノ丸城代屋敷地および中ノ馬場地区の調査。後世の削平により遺構は大半が消滅していたが、最終的な石垣(石垣)の下層にて築城時のものと見られる石垣(石垣)を確認した。福井城の石垣下にて、北庄城期の石垣(石垣)を確認した。その裏込中に丸岡城の石瓦に類似する石瓦が混入しており、その中には刻み込んだ三ッ巴紋に黒漆を塗るものが確認された。石瓦の本格的な使用は近世城郭からと見られ、北庄城期の石垣の裏込中から確認されたことから、それらの石瓦は、柴田勝家による初期の北庄城のものである可能性が考えられる。</p> <p>中世北庄の段階にて、嵩上げ・拡幅整備の繰り返される砂利敷道路を確認した。これは、朝倉氏が再興した神明社の参道である可能性がある。奈良時代の大型掘立柱建物は、当時の在地の有力者に関わる施設であることが考えられる。</p> <p>福井城としての調査であったが、数多くの福井城以前の遺構・遺物を確認し、北庄城・中世以前の北庄の新たな知見を得た。そして、奈良・古墳・縄文時代の遺構・遺物が福井市街地の中心部において広く展開する状況が窺えるようになった。</p>							

福井県埋蔵文化財調査報告 第 102集

福井城跡

福井駅西口地下駐車場整備事業に伴う発掘調査

印刷 平成 20年 3月 20日

発行 平成 20年 3月 31日

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
〒 910 2152福井市安波賀町 4 10

印刷 株式会社 三光社
〒 910 0029福井県福井市日光 2丁目 18 19
